

赤井官衙遺跡群
国史跡指定
記念講演会
企画展



赤井官衙遺跡群

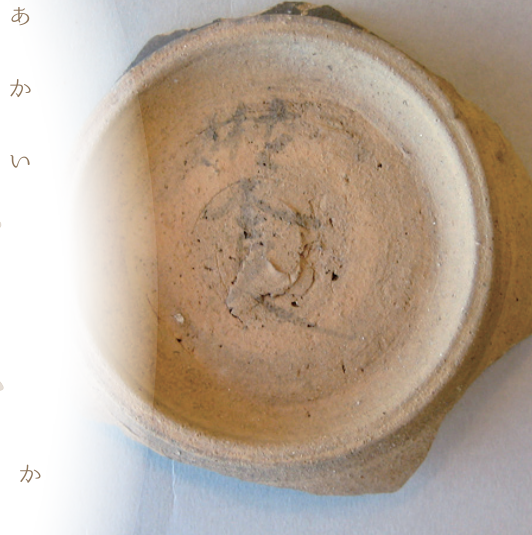
あ
か
い
か
ん
が

赤井官衙

あ
か
い
か
ん
が

遺跡群

赤井官衙遺跡と矢本横穴



記念講演会

『赤井官衙遺跡群が語るもの』

2021.12.23(土) 10:00～12:00
【開場 9:30】

東松島市コミュニティセンター

宮城県東松島市矢本字大溜 1-1 (東松島市役所北側)

◇記念講演

『赤井官衙遺跡群が語るもの 一律令国家による地方支配と蝦夷政策一』

坂井秀弥氏 (公益財団法人大阪府埋蔵文化財センター理事長、奈良大学名誉教授)

◇記念対談「赤井官衙遺跡群のこれから」

岡村道雄氏 (奈良文化財研究所名誉研究員、奥松島縄文村歴史資料館名誉館長)

坂井秀弥氏

主催：東松島市教育委員会

企画展

『赤井官衙遺跡と矢本横穴
—古代の牡鹿郡役所跡と官人の墓—』

2021.12.13(日) - 2022.2.28(日)

奥松島縄文村歴史資料館・2階展示室

東松島市宮戸字里 81-18 TEL 0225-88-3927

入館料 一般 400 円, 高校生 300 円, 小中学生 150 円
(20 名以上で団体割引あり)

開館時間 9:00～16:30

休館日 水曜日, 年末年始 12/28～1/3

問合せ：奥松島縄文村歴史資料館 0225-88-3927

〒981-0503 宮城県東松島市宮戸字里 81-18

大倉人
牡鹿
海道
二巻

昨年度から国史跡への指定に向けて準備を進めてきましたが、11月20日に開催された国の文化審議会で、赤井遺跡と矢本横穴墓群が「赤井官衙遺跡群」として、新たに国の史跡にするよう文部科学大臣に答申されました。来年3月までに正式に史跡に指定されます。

赤井官衙遺跡群は、陸奥国牡鹿郡の役所跡「牡鹿郡家」あるいは『続日本紀』に見える「牡鹿柵」と考えられる赤井官衙遺跡と、その官人らの墓・矢本横穴からなります。関東からの移住者を中心とした集落の形成と官衙の造営、蝦夷の居住域内における官衙の実態、さらにはその運営を担った郡司をはじめとする官人の出自をたどることができる、律令国家成立期の東北経営を理解する上で重要な遺跡として、国史跡に答申されました。

今回の講演会では、赤井官衙遺跡群の歴史的な意義と今後の課題、そして地域のたからとして「赤井官衙遺跡群」が目指すべきこれからについて、長年全国の遺跡の史跡指定や保存活用に関わられてきたお二人にお話しいただきます。

赤井官衙
遺跡群
国史跡
指定記念

赤井官衙遺跡と矢本横穴

赤井官衙遺跡群

記念講演会

『赤井官衙遺跡群が語るもの』

2021.1.23(土) 10:00～12:00
【開場 9:30】

東松島市コミュニティセンター

宮城県東松島市矢本字大溜1-1(東松島市役所北側)

入場
無料

定員 150名

◇記念講演

「赤井官衙遺跡群が語るもの 一律令国家による地方支配と蝦夷政策一」

坂井秀弥氏(公益財団法人大阪府埋蔵文化財センター理事長、奈良大学名誉教授)

◇記念対談

「赤井官衙遺跡群のこれから」

岡村道雄氏(奈良文化財研究所名誉研究員、奥松島縄文村歴史資料館名誉館長)
坂井秀弥氏



坂井秀弥氏

公益財団法人大阪府文化財センター理事長、奈良大学名誉教授

1955年新潟市生まれ。関西学院大学大学院修了、博士(学術)。新潟県教育委員会、文化庁主任文化財調査官、奈良大学教授を経て現職。日本遺跡学会会長。考古学から地域社会の歴史と文化財保護・地域づくりを研究。『古代地域社会の考古学』(2008)など。



岡村道雄氏

奈良文化財研究所名誉研究員、奥松島縄文村歴史資料館名誉館長
1948年上越市生まれ。東北大学大学院修了、修士(文学)。東北歴史資料館、文化庁主任文化財調査官、奈良文化財研究所企画調整部長を歴任。祖先、とくに自然と共に生きた祖先の生き方や日本文化の基礎を作った縄文生活を研究。『縄文人からの伝言』(2014)、『縄文の列島文化』(2018)など。

【主催】東松島市教育委員会

【問合せ】

奥松島縄文村歴史資料館

TEL 0225-88-3927

FAX 0225-88-3928

Mail

jomon@city.higashimatsushima.
miyagi.jp

企画展

『赤井官衙遺跡と矢本横穴 —古代の牡鹿郡役所跡と官人の墓—』

2021.12.13(日) - 2022.2.28(日)

(休館日 水曜日、年末年始 12/28～1/3)

奥松島縄文村歴史資料館・2階展示室



「大倉人」墨書土器